

# 電力制度の再点検結果を踏まえた 今後の電力政策の方向性について

2022年11月24日

資源エネルギー庁

## 本日の御議論

- これまで本小委員会においては、電力システム改革を踏まえた現状の課題について議論を重ねてきた。
- 本年8月のGX実行会議において、電力システムが安定供給に資するものとなるよう、制度全体を再点検すべきことが示されたことを受けて、本委員会においても検討を加速化。前回の本委員会においては、今後の方向性の骨格について御議論いただいた。
- 本日は、前回お示した骨格を踏まえて、個々の領域について具体的な論点をご議論いただいた。これまでの議論を踏まえ、今後の電力政策について、次ページにお示しするような方向性で進めていくこととしてはどうか。

# 電力制度の再点検結果を踏まえた今後の電力政策の方向性（案）

## 安定供給に必要な供給力の確保

- **安定供給の基盤となる供給力管理メカニズムの高度化**
  - － **中長期的な**安定供給に必要な**供給力の維持・開発を計画**する枠組みの形成
  - － 需給ひっ迫時の対応体制の高度化（再エネ出力、自家発、需要等の管理・予測の高度化）
- **十分な供給力を確保する仕組みの構築**
  - － 2024年度に始まる**容量市場**の着実な運用、**予備電源**の仕組みの構築を通じた適切な電源退出管理
  - － **緊急の電源投資支援**及び計画的な脱炭素電源投資支援（長期脱炭素電源オークションの枠組みを活用）
- **官民の適切なリスク分担による強靱な燃料調達メカニズムの構築**
  - － 燃料調達における国の関与の強化、事業者間の共同調達の促進
  - － 地域及び全国大の燃料融通の仕組みの構築

## カーボンニュートラル実現に向けた送配電網のバージョンアップ、脱炭素電源の導入推進

- **CN実現に向けた次世代電力ネットワークの構築**
  - － 広域系統長期方針（マスタープラン）の策定と早期の具体化（海底直流送電に対するファイナンス支援等）
  - － 分散型リソースの活用による系統運用の高度化
- **脱炭素型の調整力の管理・確保メカニズムの高度化**
  - － 変動型の再エネの導入を進めるための調整力の管理・確保の仕組みの構築
  - － 脱炭素型の調整力の導入・転換支援（**揚水&蓄電池の導入促進**、**水素・アンモニア混焼**支援）

## 小売事業／市場・取引環境／制度のバージョンアップ

- **消費者の選択肢と安定性の確保**
  - － 小売事業者の**責任・規律の強化**（事業モニタリング、告知強化）
  - － 小売事業者の**メニュー・電源・経営に関する情報提供**
- **競争と安定を両立する市場・取引環境の整備**
  - － **長期・安定的な電源へのアクセス**・競争の拡大（望ましい期間・ロットの検討、常時BUの改善）
  - － 電源市場・取引の効率化（**卸市場と需給調整市場**の同時最適化、電源コーディネーターの市場アクセス解放）
- **多様化する小売事業・需要家の形態に応じた制度整備**

## 1. 東京電力福島第一原子力発電所事故後のエネルギー政策

- ①安定供給の確保、②電気料金の最大限抑制、③需要家の選択肢や事業者の事業機会の拡大を目指して電力自由化（2016年には小売の全面自由化。総括原価→自由料金へ）

## 2. 途上の電力システム改革

- 需要家の選択肢拡大など一定の成果
- 一方で、自由化の下で供給力不足に備えた事業環境整備、原子力発電所の再稼働の遅れなどが相まって電力需給ひっ迫
- 再エネ大量導入（既に国土面積あたりの太陽光導入量はG7トップ）に必要となる、系統整備や調整力の確保も道半ば（この課題解消は、今後の更なる導入拡大に必須）

### 電力・ガス分野に関する論点

- 電力システムが安定供給に資するものとなるよう制度全体の再点検
- 安定供給の維持や脱炭素の推進を進める上で重要性の高い電源の明確化
- 必要なファイナンス確保への制度的対応等の検討

# 【参考】電力システム改革を踏まえた現状の課題

第53回 電力・ガス基本政策小委員会  
(2022年9月15日) 資料4-1

- これまで本委員会でも御議論いただいていたが、電力システム改革を踏まえた現状の課題について、御議論いただきたい。

## 電力システム改革の成果

- **事業者の参入・競争の拡大** (多様なメニューにより需要家の選択肢も拡大)
- **広域的な全国大での電力供給システムの構築** (連系線・周波数変換設備の増強や需給ひっ迫時の地域間融通が実現)

## 現状の課題

### 供給力の不足

- ・太陽光発電を中心とする再生可能エネルギーの導入が急速に進むとともに、脱炭素の流れとあいまって、**火力発電所の稼働率が低下**。収益の不確実性が増す中で、既設火力発電所の**休廃止が増加、発電所の新設が停滞**。原子力再稼働の遅れも相まって**供給力が低下**。
- ・発電と小売が分離する中で、**需要の予測と燃料確保を含む供給力確保の一体的な運用が課題**。

### カーボンニュートラル(CN)の目標達成と安定供給の両立

- ・CN実現に向けて再生可能エネルギーの導入を進めるにあたり、既存の電力系統では需要地への円滑な送電には制約。全国規模での**送配電網の整備や分散型システムの導入が必須**。
- ・**再生可能エネルギーの出力変動に対応しつつ、需給バランスを維持するための調整力が不可欠**。一方で、既存の蓄電池などは十分でなく、現在、主要な調整力となっている火力発電所は減少する傾向。

### 小売料金・サービスのボラティリティ顕在化

- ・自由化に伴い卸電力市場が拡大し、**新規参入を後押し**。他方、昨年1月の需給逼迫や昨年来の燃料価格高騰に伴う市場価格高騰により、自由化に伴うボラティリティが顕在化し、**小売電気事業からの撤退や中途解約が発生**。
- ・料金についても、燃料価格にあわせて価格上昇が発生。**市場連動型の料金のみの新規受付等、需要家が高騰が続く電気料金に直面**。